

環境調査結果のお知らせ

平成26年4月23日午前9時から浦ノ内湾の環境調査を行いましたので、結果をお知らせします。

概況

湾内の環境は、水温17～19℃、塩分30～33、溶存酸素量4～10mg/lでした。透明度は2～3mで、有害種のヘテロシグマ・アカシオとカレニア・ミキモトイが少数増殖していました。湾奥部の底層に貧酸素水塊が認められました。

水温と塩分(表1・2)

水温は17.1～18.9℃、塩分は30.4～32.6でした。前回調査時(H26.4.16)と比較して、水温は0.6～1.2℃上昇していました。塩分は0.2～0.7上昇しました。

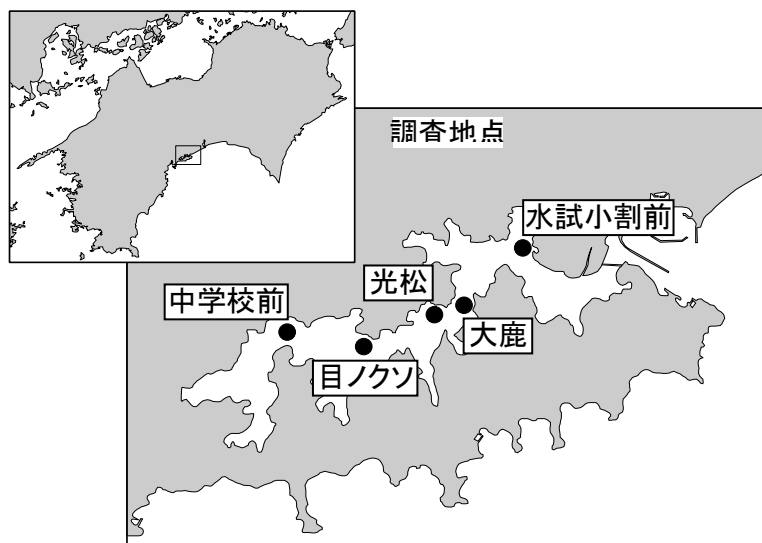
溶存酸素量(表3)

溶存酸素量は3.6～9.6mg/lで、底層が1.0mg/l減少した以外は、0.1～0.6mg/l増加していました。なお、湾奥部に貧酸素水塊が認められました。

プランクトン(表4・5)

透明度は2.3～2.9mでした。サンプルを検鏡した結果、ヘテロシグマ・アカシオが最高で100cells/ml確認されました。他にカレニア・ミキモトイが少数ながら確認されています。

海や養殖魚の状態に不安や変化を感じた時は、良く洗ったペットボトルに海水を汲む等して、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。



漁業被害が想定される細胞密度

- ・ヘテロシグマ・アカシオ(魚類のへい死): 10,000～50,000cells/ml
- ・カレニア・ミキモトイ: 数百～数千cells/ml(魚類等のへい死)

環境調査結果表(水温・塩分・プランクトン等)

表1 水温(°C)

調査地点	中学校前	目ノクソ	光松	大鹿	水試小割前	漁場平均 ※	前回調査(H26.4.16)	
							漁場平均	前回との差 今回-前回
0m	18.4	18.6	18.7	18.9	18.6	18.7	17.6	1.1
2m	18.3	18.8	18.6	18.9	18.5	18.8	17.8	1.0
5m	17.8	18.4	18.6	18.8	18.8	18.6	17.4	1.2
10m	17.2	17.9	18.4	18.4	-	18.2	17.2	1.0
B-1m	17.1	17.4	18.2	18.2	18.9	17.9	17.4	0.6

表2 塩分

調査地点	中学校前	目ノクソ	光松	大鹿	水試小割前	漁場平均 ※	前回調査(H26.4.16)	
							漁場平均	前回との差 今回-前回
0m	30.4	30.9	31.0	31.3	31.4	31.0	30.3	0.7
2m	31.5	31.5	31.8	31.9	31.5	31.7	31.3	0.3
5m	31.9	32.1	32.2	32.3	32.4	32.2	31.7	0.4
10m	31.9	32.2	32.3	32.3	-	32.3	31.9	0.3
B-1m	31.9	32.1	32.4	32.4	32.6	32.3	32.1	0.2

表3 溶存酸素量(mg/l)

調査地点	中学校前	目ノクソ	光松	大鹿	水試小割前	漁場平均 ※	前回調査(H26.4.16)	
							漁場平均	前回との差 今回-前回
0m	9.6	9.6	9.3	9.6	9.4	9.5	9.4	0.1
2m	7.6	9.1	8.1	9.2	9.2	8.8	8.6	0.3
5m	7.0	7.8	7.7	7.8	7.7	7.8	7.2	0.6
10m	4.7	6.5	6.9	6.9	-	6.8	6.5	0.3
B-1m	3.6	4.5	5.8	5.9	7.5	5.4	6.4	▲ 1.0

※ 目ノクソ・光松・大鹿の平均値

表4 水深・透明度(m)

調査地点	中学校前	目ノクソ	光松	大鹿	水試小割前
水深	12.8	16.4	17.5	17.4	9.8
透明度	2.9	2.9	2.4	2.4	2.3
前回透明度	3.1	3.1	3.1	2.8	3.7

表5 プランクトン(cells/ml)

		ヘテロシグマ・ アカシオ	カレニア・ ミキモトイ				
中学校前	0m	0	0				
	2m	60	0				
	5m	90	50				
目ノクソ	0m	100	0				
	2m	100	0				
	5m	50	90				
光松	0m	40	0				
	2m	60	20				
	5m	30	30				
大鹿	0m	40	0				
	2m	20	40				
	5m	10	20				
水試小割前	0m	30	0				
	2m	40	0				
	5m	0	0				